

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	北本市			
提案事業名	マルシェを通じた地域参加人口創出事業			
事業期間	令和2 年度 ～ 令和2 年度			
事業の必要性、目的	日本全国で人口減少が急激に進行する中、現在実施している移住・定住施策のみで人口増を図ることは難しいことから、平成31年3月に策定した「シティプロモーション推進方針」に基づき、市民や市内事業者の理解と協力を得ながら、まちぐるみでプロモーションに資する事業を行っていく必要がある。			
成果指標	(成果を検証する指標) (1) マルシェボランティア数、(2) マルシェ来訪者数			
	(成果検証の具体的な方法) (1) ボランティア名簿の作成及び管理 (2) マルシェ当日の来訪者数カウント			
	(上記の指標を設定した理由) 「地域参加人口」の獲得状況、北本市に関心のある人口数を把握するための指標として適しているため			
	(成果の目標値)			
	現状値 (令和元年1月現在)	(1) 0 (2) 0	目標値 (令和3年3月時点)	(1) 20 (2) 10,000人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市ホームページにおける公表、行政報告書(決算書参考資料)への記載			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
①	マルシェ(縁側日和)の運営	ソフト 北本市を中心とした魅力的な個店を集約させたマルシェを開催し、市への来訪者を増加させる。	3,878
②	マルシェの学校の運営	ソフト マルシェの学校を通して、マルシェの企画内容や運営方法について学びながら参加者の関心を高め、マルシェに関わるボランティアを育成する。	422
③			
④			
⑤			
合計			4,300

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	ホームページやSNSを活用した広報活動及び市民、市内事業者(特に幼稚園や保育園)、包括連携協定締結企業等と連携して広く募集する。
成果指標の達成見込み	(1) 令和元年度に開催したふるさと愛醸成事業におけるプロモーションワークショップの参加者数50人×20%=10人 その他 10人 (2) 過去の同規模マルシェの来訪者実績約10,000人